



2010 年春の交通安全運動期間内 J A T M A 「タイヤ点検結果」の報告

(社)日本自動車タイヤ協会(会長 三野 哲治)は、都道府県警察・運輸支局、東日本・中日本・西日本の各高速道路株式会社(旧 J H)、自動車及びタイヤ関連団体と協力し、2010 年春の交通安全運動期間内(4月6日~15日までの10日間)に全国で3回の路上タイヤ点検を実施し、このほどその結果をまとめましたので、ここに発表致します。

【タイヤ点検結果の概要】

タイヤ点検を行った車両は、高速道路(含、自動車専用道路)133台、一般道路59台の合計192台で、これらの車両のタイヤ整備状況は次の通りです。

なお、本タイヤ点検結果の概要及び昨年対比は、別表1~3に示しました。

1 . タイヤ点検の概要(表 - 1)

タイヤ点検の結果、表 - 1 の通り、点検車両192台のうち、タイヤに整備不良があった車両は26台、不良率13.5%となっており、昨年の点検結果に比べ20.8ポイントの減少となっています。

なお道路別にみると、高速道路のタイヤ整備不良率は16.5%で23.3ポイント減少、一般道路では6.8%で11.0ポイント減少という結果となっています。

表 - 1 タイヤ点検の概要

項目	2010年			参考(2009年)		
	高速道路	一般道路	合 計	高速道路	一般道路	合 計
点検回数(回)	2	1	3	4	1	5
点検車両A(台)	133	59	192	133	45	178
タイヤ整備不良車両B(台)	22	4	26	53	8	61
不良率B/A(%)	16.5	6.8	13.5	39.8	17.8	34.3
対前年増減	-23.3	-11.0	-20.8	-	-	-

2 . 道路別・タイヤ整備不良項目の内訳(表 - 2)

タイヤの整備状況を項目別にみると表 - 2 の通り、不良率1位は「空気圧不適正」で7.3%、次いで「偏摩耗」3.1%「釘・異物踏み」1.0%の順となっています。

不良率を昨年の結果と比較すると、「空気圧不適正」が14.0ポイント、「偏摩耗」2.0ポイント、「釘・異物踏み」0.7ポイントとそれぞれ減少となっています。

また、道路別でみた不良率を昨年の結果と比較すると、高速道路では「空気圧不適正」18.8ポイント、「タイヤ溝不足」3.8ポイント、「偏摩耗」2.3ポイントとそれぞれ減少しています。一方、一般道路では「空気圧不適正」の1.7ポイント増加以外、全ての項目で減少しています。

表 - 2 道路別・タイヤ整備不良項目の内訳

区分 項目	2010年						対2009年増減		
	高速道路		一般道路		合 計		高速道路	一般道路	合 計
	件数	%	件数	%	件数	%			
タイヤ溝不足	0	0.0	1	1.7	1	0.5	-3.8	-2.7	-3.4
偏摩耗	4	3.0	2	3.4	6	3.1	-2.3	-1.0	-2.0
外 傷	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	-2.2	-0.6
釘・異物踏み	2	1.5	0	0.0	2	1.0	0.0	-2.2	-0.7
空気圧不適正	13	9.8	1	1.7	14	7.3	-18.8	1.7	-14.0
そ の 他	3	2.3	0	0.0	3	1.6	-5.2	-6.7	-5.7
計	22	-	4	-	26	-	-	-	-

注) 1 . 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

注) 2 . 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。

(空気圧不足 : 6件、空気圧過多 : 8件)

注) 3 . 空気圧測定はホット状態。(目視点検を含む)

3 . 車種別・タイヤ整備不良台数の内訳(表 - 3)

タイヤの整備状況を車両グループ別にみると表 - 3の通り「乗用車」の14.1%(09年結果に比べ21.7ポイント減少)、「貨物車」10.0%(同、17.5ポイント減少)と両グループ共に減少となっており、「特種車」を含めた全体でも昨年の結果に比べ20.8ポイント減少となっています。グループ別の整備状況としては、「乗用車グループ」で、普通乗用(3)、小形乗用(5.7)、軽(5.7)それぞれ減少、また「貨物車グループ」でも、全ての車種で減少となっています。

表 - 3 車種別・タイヤ整備不良台数の内訳

車種	点検車両(台)	不良車両(台)	不良率(%)	対2009年増減
乗用車	普通乗合(2)	0	0.0	0.0
	普通乗用(3)	44	5	11.4
	小型乗用(5.7)	74	11	14.9
	軽(5.7)	31	5	16.1
小計		149	21	14.1
貨物車	普通貨物(1)	3	0	0.0
	小型貨物(4)	27	4	14.8
	軽(4.6)	10	0	0.0
	小計	40	4	10.0
特種(8)		3	1	33.3
合計		192	26	13.5
				-20.8

注) ()内数字は、車種ナンバーを示す。

4. 車種別・タイヤ整備不良項目の内訳(表-4)

車両グループ別・項目別ワースト1位は表-4の通り乗用車・貨物車共に「空気圧不適正」となっており、不良率はそれぞれ乗用車8.1%、貨物車5.0%となっています。

表-4 車種別・タイヤ整備不良項目の内訳

車種	項目	タイヤ溝不足		偏摩耗		外傷		釘・異物踏み		空気圧不適正		その他		合計
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	
乗用車	普通乗用(2)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
	普通乗用(3)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	6.8	2	4.5	5
	小型乗用(5.7)	1	1.4	3	4.1	0	0.0	0	0.0	7	9.5	0	0.0	11
	軽(5.7)	0	0.0	2	6.5	0	0.0	0	0.0	2	6.5	1	3.2	5
	小計	1	0.7	5	3.4	0	0.0	0	0.0	12	8.1	3	2.0	21
貨物車	普通貨物(1)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
	小型貨物(4)	0	0.0	1	3.7	0	0.0	1	3.7	2	7.4	0	0.0	4
	軽(4.6)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
	小計	0	0.0	1	2.5	0	0.0	1	2.5	2	5.0	0	0.0	4
特種(8)		0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0	1
合計		1	0.5	6	3.1	0	0.0	2	1.0	14	7.3	3	1.6	26

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

注) 2. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。(空気圧不足:6件 空気圧過多:8件)

注) 3. 空気圧測定はホット状態。(目視点検を含む)

【まとめ】

今回の結果をみると、「空気圧不適正」が09年結果に比べ14.0ポイント減少しているものの整備不良率では、ワースト1位(7.3%)となっています。また、「偏摩耗」が3.1%で2.0ポイント減をはじめ、全ての項目で減少しています。

当会では今後も引き続き「4月8日タイヤの日」をはじめとした、年間を通してのタイヤ点検実施に加え、タイヤ使用管理リーフレット配布等の安全啓発活動を展開していくこととしています。

本件に関するお問い合わせ先
技術環境部 : 柴田
電話 03-3435-9092

1. 2010年 春の全国交通安全運動路上タイヤ点検結果

社団法人 日本自動車タイヤ協会

年別 道路別 点検項目	2009年						2010年						
	高速道路		一般道路		計		高速道路		一般道路		計		
							対前年増減		対前年増減		対前年増減		
点検回数(回)	4	1	5	2	-2	1	0	3	-2				
点検車両A(台)	133	45	178	133	0	59	14	192	14				
タイヤ整備不良車両B(台)	53	8	61	22	-31	4	-4	26	-35				
不良率B/A(%)	39.8	17.8	34.3	16.5	-23.3	6.8	-11.0	13.5	-20.8				
件数・不良率		件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率		
タイヤ整備不良の内訳			件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率		件数	不良率	件数	
								%	増減				
	タイヤ溝不足	5	3.8	2	4.4	7	3.9	0	0.0	-3.8	1	1.7	-2.7
	偏摩耗	7	5.3	2	4.4	9	5.1	4	3.0	-2.3	2	3.4	-1.0
	外傷(コードに達するもの)	0	0.0	1	2.2	1	0.6	0	0.0	0.0	0	0.0	-0.6
	釘・異物踏み	2	1.5	1	2.2	3	1.7	2	1.5	0.0	0	0.0	-2.2
	空気圧不適正	38	28.6	0	0.0	38	21.3	13	9.8	-18.8	1	1.7	1.7
その他		10	7.5	3	6.7	13	7.3	3	2.3	-5.2	0	0.0	-6.7
計		62	-	9	-	71	-	22	-	-	4	-	-
											26	-	-

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

2. 不良率：「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」/「点検車両台数」×100

3. 高速道路とは自動車専用道路を含む。

4. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。(内訳 空気圧不足:6件 空気圧過多:8件)

5. 空気圧測定はホット状態。(目視点検を含む)

2.2010年 春の全国交通安全運動路上タイヤ点検・車種別項目別結果

社団法人 日本自動車タイヤ協会

道路別	項目 車種No.	点検車両 (A)	タイヤ整備 不良車両 (B)	不良率 (%) (B/A)	タイヤ整備不良の項目内訳												計	
					タイヤ溝不足		偏摩耗		外傷 (コードに達するもの)		釘・異物踏み		空気圧不適正		その他			
					件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率		
高速道路	乗用車	普通乗合(2)	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		普通乗用(3)	36	5	13.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	8.3	2	5.6	5
		小型乗用(5.7)	46	9	19.6	0	0.0	2	4.3	0	0.0	0	0.0	7	15.2	0	0.0	9
		軽(5.7)	20	3	15.0	0	0.0	1	5.0	0	0.0	0	0.0	1	5.0	1	5.0	3
		計	102	17	16.7	0	0.0	3	2.9	0	0.0	0	0.0	11	10.8	3	2.9	17
	貨物車	普通貨物(1)	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		小型貨物(4)	20	4	20.0	0	0.0	1	5.0	0	0.0	1	5.0	2	10.0	0	0.0	4
		軽(4.6)	8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		計	29	4	13.8	0	0.0	1	3.4	0	0.0	1	3.4	2	6.9	0	0.0	4
	2回	特種(8)	2	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	1
	回	合計	133	22	16.5	0	0.0	4	3.0	0	0.0	2	1.5	13	9.8	3	2.3	22
一般道路	乗用車	普通乗合(2)	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		普通乗用(3)	8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		小型乗用(5.7)	28	2	7.1	1	3.6	1	3.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2
		軽(5.7)	11	2	18.2	0	0.0	1	9.1	0	0.0	0	0.0	1	9.1	0	0.0	2
		計	47	4	8.5	1	2.1	2	4.3	0	0.0	0	0.0	1	2.1	0	0.0	4
	貨物車	普通貨物(1)	2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		小型貨物(4)	7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		軽(4.6)	2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		計	11	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
	1回	特種(8)	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
	回	合計	59	4	6.8	1	1.7	2	3.4	0	0.0	0	0.0	1	1.7	0	0.0	4
合計	乗用車	普通乗合(2)	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		普通乗用(3)	44	5	11.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	6.8	2	4.5	5
		小型乗用(5.7)	74	11	14.9	1	1.4	3	4.1	0	0.0	0	0.0	7	9.5	0	0.0	11
		軽(5.7)	31	5	16.1	0	0.0	2	6.5	0	0.0	0	0.0	2	6.5	1	3.2	5
		計	149	21	14.1	1	0.7	5	3.4	0	0.0	0	0.0	12	8.1	3	2.0	21
	貨物車	普通貨物(1)	3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		小型貨物(4)	27	4	14.8	0	0.0	1	3.7	0	0.0	1	3.7	2	7.4	0	0.0	4
		軽(4.6)	10	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		計	40	4	10.0	0	0.0	1	2.5	0	0.0	1	2.5	2	5.0	0	0.0	4
	3回	特種(8)	3	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0	1
	回	合計	192	26	13.5	1	0.5	6	3.1	0	0.0	2	1.0	14	7.3	3	1.6	26

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

2. 不良率：「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」/「点検車両台数」×100

3. 高速道路とは自動車専用道路を含む。

4. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。(内訳 空気圧不足:6件 空気圧過多:8件)

5. 空気圧測定はホット状態。(目視点検を含む)

3. 2009年、2010年 春の全国交通安全運動路上タイヤ点検不良項目別結果比較

社団法人 日本自動車タイヤ協会

道路別	項目 車種NO.	点検車両中の タイヤ整備不良			タイヤ整備不良の項目内訳																		
					タイヤ溝不足			偏摩耗			外傷 (コードに達するもの)			釘・異物踏み			空気圧不適正			その他			
		09年	10年	増減	09年	10年	増減	09年	10年	増減	09年	10年	増減	09年	10年	増減	09年	10年	増減	09年	10年	増減	
高速道路	乗用車	普通乗合(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		普通乗用(3)	34.0	13.9	-20.1	2.1	0.0	-2.1	2.1	0.0	-2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	27.7	8.3	-19.4	6.4	5.6	-0.8		
		小型乗用(5.7)	50.0	19.6	-30.4	2.4	0.0	-2.4	2.4	4.3	1.9	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	-2.4	42.9	15.2	-27.7	9.5	0.0	-9.5
		軽(5.7)	44.4	15.0	-29.4	5.6	0.0	-5.6	5.6	5.0	-0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	27.8	5.0	-22.8	11.1	5.0	-6.1		
		計	42.1	16.7	-25.4	2.8	0.0	-2.8	2.8	2.9	0.1	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	-0.9	33.6	10.8	-22.8	8.4	2.9	-5.5
	貨物車	普通貨物(1)	50.0	0.0	-50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	-50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	-50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		小型貨物(4)	28.6	20.0	-8.6	4.8	0.0	-4.8	9.5	5.0	-4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0	9.5	10.0	0.5	4.8	0.0	-4.8
		軽(4.6)	33.3	0.0	-33.3	33.3	0.0	-33.3	33.3	0.0	-33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		計	30.8	13.8	-17.0	7.7	0.0	-7.7	15.4	3.4	-12.0	0.0	0.0	0.0	3.8	3.4	-0.4	7.7	6.9	-0.8	3.8	0.0	-3.8
		特種(8)	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	合計		39.8	16.5	-23.3	3.8	0.0	-3.8	5.3	3.0	-2.3	0.0	0.0	0.0	1.5	1.5	0.0	28.6	9.8	-18.8	7.5	2.3	-5.2
一般道路	乗用車	普通乗合(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		普通乗用(3)	16.7	0.0	-16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	-16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		小型乗用(5.7)	13.3	7.1	-6.2	6.7	3.6	-3.1	0.0	3.6	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	-6.7
		軽(5.7)	11.1	18.2	7.1	0.0	0.0	0.0	11.1	9.1	-2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0
		計	13.3	8.5	-4.8	3.3	2.1	-1.2	3.3	4.3	1.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	-3.3	0.0	2.1	2.1	3.3	0.0	-3.3
	貨物車	普通貨物(1)	40.0	0.0	-40.0	20.0	0.0	-20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	-20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	-20.0
		小型貨物(4)	33.3	0.0	-33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	-33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		軽(4.6)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		計	21.4	0.0	-21.4	7.1	0.0	-7.1	7.1	0.0	-7.1	7.1	0.0	-7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	-7.1
		特種(8)	100.0	0.0	-100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	-100.0
	合計		17.8	6.8	-11.0	4.4	1.7	-2.7	4.4	3.4	-1.0	2.2	0.0	-2.2	2.2	0.0	-2.2	0.0	1.7	1.7	6.7	0.0	-6.7
合 計	乗用車	普通乗合(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		普通乗用(3)	32.1	11.4	-20.7	1.9	0.0	-1.9	1.9	0.0	-1.9	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	-1.9	24.5	6.8	-17.7	5.7	4.5	-1.2
		小型乗用(5.7)	40.4	14.9	-25.5	3.5	1.4	-2.1	1.8	4.1	2.3	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	-1.8	31.6	9.5	-22.1	8.8	0.0	-8.8
		軽(5.7)	33.3	16.1	-17.2	3.7	0.0	-3.7	7.4	6.5	-0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.5	6.5	-12.0	7.4	3.2	-4.2
		計	35.8	14.1	-21.7	2.9	0.7	-2.2	2.9	3.4	0.5	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	-1.5	26.3	8.1	-18.2	7.3	2.0	-5.3
	貨物車	普通貨物(1)	42.9	0.0	-42.9	14.3	0.0	-14.3	14.3	0.0	-14.3	14.3	0.0	-14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	-14.3			
		小型貨物(4)	29.2	14.8	-14.4	4.2	0.0	-4.2	12.5	3.7	-8.8	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	3.7	8.3	7.4	-0.9	4.2	0.0	-4.2
		軽(4.6)	11.1	0.0	-11.1	11.1	0.0	-11.1	11.1	0.0	-11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		計	27.5	10.0	-17.5	7.5	0.0	-7.5	12.5	2.5	-10.0	2.5	0.0	-2.5	2.5	2.5	0.0	5.0	5.0	0.0	5.0	0.0	-5.0
		特種(8)	100.0	33.3	-66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	-100.0
	合計		34.3	13.5	-20.8	3.9	0.5	-3.4	5.1	3.1	-2.0	0.6	0.0	-0.6	1.7	1.0	-0.7	21.3	7.3	-14.0	7.3	1.6	-5.7

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

2. 不良率: 「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」/「点検車両台数」×100

3. 高速道路とは自動車専用道路を含む。

4. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。(内訳 空気圧不足:6件 空気圧過多:8件)

5. 空気圧測定はホット状態。(目視点検を含む)